

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半田 晴 久
環境技術委員長 坂本 忠 彦
両団体専務理事 清原 淳 平

環境技術委員会のお知らせ(第361回)

日時 令和元年9月18日(水) 午後1時半～4時

場所 衆議院第二議員会館 地下1階 第6会議室

千代田区永田町2-1-2

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より4分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車3分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第6会議室に行きたい」旨お伝え下されれば、お迎えに参ります。

議題 1、「環境問題について、昨今、想うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、『環境白書』の解説

解説 環境省大臣官房環境計画課 中島恵理計画官

3、『環境技術関連ニュースNO.182』

解説 中島稔科学技術部会長

報告 去る7月24日開催の第360回環境技術委員会は、坂本忠彦環境技術委員長が議長を務め行われました。まず、坂本委員長より「環境問題について、昨今、想うこと」と題して開会挨拶がありました。今年の梅雨は長い。梅雨の期間、連続して27日間降雨があり、日照時間は記録的な少なさだったという。水不足の心配はなさそうだが、梅雨が明けると猛暑がやって来る。

次に、清原淳平専務理事より、執行秀彦棚オーレック商品企画部課長の経歴紹介がありました。次に、執行課長より、『米国からの大量輸入要請に対する日本畜産業の努力—畜舎の環境衛生・健全育成のため

の機器・装置—』について解説がありました。TPPと日本・EU間EPAにより、牛肉の関税は9%まで漸減することが決まった。8月の日米通商交渉で、米国産牛肉の大量輸入を要請される可能性もある。これは我が国の畜産農家にとって死活問題である。ただでさえ飼料の高騰や飼育コストの高騰が小規模農家を苦しめている。近隣住民からの悪臭による苦情もあり、牛の熱中症による死亡による損失もある。棚オーレックでは、畜舎に畜糞尿の消臭液を散布する機器を開発し、牛にストレスを与えない畜舎環境を実現し、牛の疾病率の減少、畜糞尿の肥料化の促進、肉の質の向上などの効果を上げている。ただし、現行機は1台450万円で、零細農家にとっては高く感じる。小規模農家には、小規模で機能を絞った低価格機を開発しアプローチしたい。大規模農家向けには、消臭機能のほかに暑熱対策、薬剤散布機能などをつけて、補助金を受けやすくし、新型機の導入につなげていきたい。肉質が向上すれば、和牛のブランド強化と輸出量拡大にもつながる。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No.181』の解説がありました。今回は、○地球の海面上昇、温室効果ガスの排出がこのまま続けば2100年には2mに達するとの予測。○改正フロン排出抑制法が成立。回収しない場合即罰則。○G20でも温暖化対策は話し合われる予定。CO2の再利用が目玉になりそうだが、水素や触媒のコスト減が進んでおらず、果たして技術革新はうまくいくのか不透明な部分も。そのため日本政府の長期戦略からも石炭火力全廃は明言できず、短期的にはCO2排出量の少ない原子力に頼らざるを得ないとの指摘もある。○G20環境大臣会合では、海洋プラスチックごみの削減国際枠組に各国が合意できるかが焦点。○米中貿易戦争の鍵を握るのはレアアース? 8割を中国に依存しているだけに切り札になる可能性。○東京都内で大雨が降った場合の浸水リアルタイム予測システムの開発。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費千円にご協力をお願い申し上げます。

次回、9月18日(水)の環境技術委員会に

出 - 欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の当日会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp